

ハローワーク岡山 就職支援業務報告（令和４年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

① 就職氷河期世代対象者への積極的な対応

就職氷河期世代の就職促進は国を挙げて取り組んでいる課題であり、就職活動を行うにあたり自分自身に自信が持てないと話す者も多く見受けられることから、コロナへの感染防止対策を図りながら、セミナー・面接会等を定期的に行うとともに、おかやま地域若者サポートステーションとの連携において意見交換やセミナー講師として参加することで連携を強化し、引きこもり者等へのアプローチを積極的に実施した。これらにより、４年度における正社員就職数は９５０人と効果があった。

② 模擬面接実施体制の強化

当所では、就職件数の目標達成を目指して、紹介成功率の向上が必要と考え、すべての職員・相談員が模擬面接を実施出来るようにＯＪＴ研修を行いながら取組を行いました。この取組では不採用となった者に対してもハローワークから連絡を行い、２回目、３回目の模擬面接を実施し、対象者に寄り添った支援を行ってきたところであり、令和４年度は、延べ１９３人に実施し、うち就職者７４人と効果があった。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

① 広報体制の強化の推進

利用者目線に立ち「ハローワーク岡山が伝えたいことをしっかりと伝える」を意識し、所内ポスター等の広報物の貼り出しを行っており、継続実施を図った。

特に、「ハローワーク岡山利用ガイド」を一新するとともに、ハローワークが行っているサービスやハローワークインターネットサービス等のＱＲコードを記載するなどの取組みを行った。

また、公的職業訓練の周知については職種別掲示や、訓練施設ごとの作品展示、訓練風景等のＤＶＤ上映を行うことで、訓練受講者数も着実に伸びてきており、求職者のスキルの向上、資格取得者の労働市場への供給が図られたものと実感している。

５年度においても、この取組みを継続実施するとともに、利用者から寄せられた声を真摯に受止め、より利用しやすい機関としての役割が果たせるよう、ハローワーク岡山全体で取組を行う。

② 窓口誘導の改善

同一フロアで職業相談ブースの窓口番号と求人閲覧端末番号が重複し、ボイスコール呼び出し時に利用者が勘違いすることがあったので、窓口番号と端末番号の重複を解消することにより窓口利用者誘導の改善を図った。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

① 窓口利用を促すための取組み（求職者マイページの利用促進）

求職者マイページの広報・周知を図り、求職者マイページを利用した求人情報の提供を促進することにより、各窓口職員のマンツーマン担当者制対象者に対して、求人情報提供・各種面接会・セミナー等のイベント案内を強化することで、来所者数、紹介件数、就職数の増加に繋げる取組みを行う。

② 求人充足会議の効果的運用と事業所訪問の実施

求人充足会議の効果的運営と活性化を目的として、重点支援対象とした求人について、職業相談員等の求人担当者制とするとともに、担当職員が自ら事業所訪問・求人条件緩和等の支援強化を図る。

また、事業所に対する支援強化を行うとともに、実際の求人事業所の状況を見学することで得られる知識を活用し、求人充足を図る。

③ ハローワークプラザ岡山（岡山駅前求職者窓口、おかやまマザーズハローワーク）の更なる周知

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、岡山駅前に立地する「岡山駅前求職者窓口」「おかやまマザーズハローワーク」の利用者数の減少が見られている。

ハローワークプラザ岡山は、岡山駅を利用する者にも利便性が高く、開庁時間の延長・土曜日開庁などの在職者サービスも行っており、職業紹介に特化した施設となっている。

また、おかやまマザーズハローワークは子供連れでも安心して来所できる体制を整えており、子育て等で就労へのブランクの有る者にとって心強い存在である。

このため、ハローワークプラザ岡山の利便性の高さ等について広報・周知を図るとともに、おかやまマザーズハローワークにおいてはセミナー等を通じて、再就職に不安を抱く者に自信を与えるなど、独自性の高い取組みにより利用者数の増加を図る。

(4) その他業務運営についての分析等

○ 紹介件数及び就職率を意識した窓口運営

令和元年度当初より「一日一人4件以上の紹介」を目標として取組んでいるが、これを5年度においても継続して取組み、紹介率の向上に繋げる。

この目標達成のため、全職員・相談員に対して、相談件数・紹介数、求人連絡件数、模擬面接の実施状況について日々報告を求め、各月の個別の状況についてまとめたものを配付することにより、各個人が目標意識を持てる環境を整えるとともに、数値が著しく低い者についてはヒアリング等を実施することとし、全所体制で目標達成に向けた改善を図る。

2 特記事項

○ 新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響

令和3年度に比べると新型コロナウイルス感染症の感染拡大時期においても新規求人数や新規求職者の大幅な減少は見られなくなった。

一方、ウクライナ情勢等の国際情勢に起因する物価高騰等の影響により新規求人数は、新型コロナウイルス感染症の拡大前の水準までは回復しておらず、緩やかな改善に留まっている。

3 総合評価（※）

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	正社員に結びついた就職氷河期世代 の不安定就労者・ 無業者の件数	障害者の 就職件数	ハローワークの職 業紹介により、正 社員に結びついた フリーターの件数	生涯現役支援窓口 での65歳以上の 就職件数
令和4年度実績	6,349	7,802	2,515	87.2%	95.7%	950	571	777	194
令和4年度目標	6,817	8,307	2,465	90.0%	90.0%	712	622	716	188
目標達成率	93.1%	93.9%	102.0%	96.9%	107.4%	133.4%	91.8%	108.5%	103.2%

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク津山 就職支援業務報告（令和４年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

- ・ 生涯現役支援窓口での６５歳以上の就職件数

当所は、求職者のうち高齢者の占める割合が４割を超える状況となっていることから、高齢者の就職を応援する『カムカムシニア』を実施した。

カムカムシニアでは、高齢者の就職を希望及び前向きに進めている求人をまとめた求人情報誌（Ａ３版に拡大）の発行に加え、曜日指定でシルバー人材センターの専用ブースを設けるなど、当所内において様々な働き方の提案ができる体制を図った。

また、地元自治体の津山市との共催による企業説明会・面接会を開催し、参加事業所４社に対して３５名の参加があり、高齢者の就労意欲の高さが窺えた。また当日は、シルバー人材センターに加え年金事務所の相談ブースも設けて、ワンストップで相談できる体制整備を図った。

- ・ 人材不足分野の就職件数

看護・介護・建設・警備・運輸の人材不足分野の就職を進めるため、人材サービスコーナーを中心に取組を強化した。

うち、各業界を対象に開催したミニ面接会では、計１５社の参加に対して４９名の求職者の集客があり、面接件数も６２件に上った。

加えて、２月には建設関係事業所の見学会（５名参加）、３月には看護・介護関係事業所のオンライン見学会（５名参加）を開催し、求人票だけでは解らないところを、直接又はオンラインで確認いただくことで求職者の理解を促し、地元人材不足分野企業への充足を図った。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、各種制度の再確認を行うことで、的確に制度の趣旨や訓練コースの案内ができるよう、以下の３つの職員研修を実施した。

- | | |
|-------------------------|--------|
| ・ 就職氷河期世代について | 参加者１９名 |
| ・ 職業訓練基礎研修（ロールプレイングを含む） | 参加者２２名 |
| ・ 職業相談担当者のための雇用保険給付制度研修 | 参加者３０名 |

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

特に、玄関ホールにおいて様々な案内ポスターが無秩序に掲示されている状態であった。

このため、ピックアップ求人や就職氷河期世代対象求人等においても、足を止めて見てもらい辛い状況であったことから、内容ごとに掲示場所を割当て、項目ごとに内容を分類し掲示することで、来所時やお帰りの際に足を止めて情報に目を通す方の姿が増加した。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

人手不足が深刻となる中において、各事業所に対しての労働力の供給は急務であることから、特に若年者層への求職者担当者制による求人情報提供の強化を図るとともに、再就職手当の活用を促すことで雇用保険受給者の早期再就職の促進を図り、就職件数、充足数の増加につなげたい。

また、就労意欲旺盛な高年齢者を地元の貴重な労働力として活用するため、高年齢者活用のメリットに加え、求人条件の緩和指導を行い労働力の確保につなげたい。

4年度に開催した学卒者等就職面接会においては、47社の参加事業所があったにもかかわらず、参加求職者は12名という結果となった。5年度においては従来の開催周知方法を徹底的に見直し、SNSやHP等の活用も積極的に行うことで参加者を誘導し、津山圏域への若年労働力の確保を図る。

(4) その他業務運営についての分析等

年度前半においては、新規求職者数の減少傾向緩和されたものの、年度後半に入り新型コロナウイルス感染症第8波の影響がみられる12・1月頃は対前年同月比で2桁を超える減少があり、それに伴い職業相談数も減少傾向となった。

そうした影響からか、就職件数・充足数については目標値の達成に至らない状況となった。

今年度はアフターコロナとなるが、依然感染を恐れる求職者も見受けられるが、求職者担当者制の強化を図ることで、目標の達成を目指すとともに、地元求人への充足をしっかりと行ってまいりたい。

当所の管内面積は岡山県下の3分の1近い面積であることに加え、公共交通機関も発達しているとは言い難い状況にある。管轄面積の広い当所において、オンラインの活用は非常に有効な手段であるが、オンライン紹介、オンライン自主応募の利用は低調となっている。

今年度においては、求職者マイページの開設率を向上させるとともに、マザーズコーナーを含む求職者担当者制対象者を中心にオンライン活用を進めてまいりたい。

2 特記事項

4年度の障害者の就職件数は、対前年度比で110.7%と大幅な増加となった。

当所においては、県外大手事業所の支店・営業所等が少なく、以前より障害者専用求人への提出が限定的であることから、一般求人に対してそれぞれの求職者の状況に合わせた条件変更等の提案を行い、マッチングを行ってきた成果であると考えている。

また、障害者面接会はコロナ禍でもあったことから、参加企業8社という小規模での開催としたが、うち7社で採用が決まるなど求人者・求職者双方が満足度を得られる結果となった。5年度においては、よりマッチングの制度を上げることにより障害者の就職促進に取り組んでまいりたい。

3 総合評価（※）

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	就職氷河期世代の 正社員就職	障害者の 就職件数	公的職業訓練 修了者の就職件数	マザーズハローワーク 事業就職率
令和4年度実績	3,089	2,691	897	84.4%	91.8%	220	228	119	95.0%
令和4年度目標	3,162	2,873	851	90.0%	90.0%	203	218	116	94.0%
目標達成率	97.7%	93.7%	105.4%	93.8%	102.0%	108.4%	104.6%	102.6%	101.0%

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク倉敷中央 就職支援業務報告（令和４年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

ハローワーク倉敷中央では、就職件数及び充足数の目標達成を最重要と考え、各種取組を行いました。求職者の見極めを的確に行うことに力を入れ、直ちに職業紹介できる求職者については、簡易な職業相談で対応することとし、待ち時間の解消を図りました。

一方で、綿密な職業相談が必要な求職者に対しては、これまで以上に能動的なマッチング業務を推進するため、倉敷わかものハローワーク職員によるスカウティング（本所に出向いて職業相談を行い、窓口と比較的余裕がある「わかハロ」へ誘導する取組）、次の仕事をじっくり探すのか、急いでいるのかといった求職者のスキル面以外の見極めにより、急いでいる求職者への注力などを行いました。

さらには、求職者担当者制以外の求職者に対しても「条件アップ求人などの推奨求人」による積極的なマッチングに取り組んだ結果、雇用保険受給者の早期再就職件数、就職支援ナビゲーターの支援による正社員就職件数、就職氷河期世代の正社員就職件数、生涯現役支援窓口での６５歳以上の就職件数について目標を達成することができました。

また、若年者の就職支援については、「倉敷わかものハローワーク」において、SNS（LINE@）を活用した情報発信を実施するなど、若年層を中心とした利用者増のために積極的に取り組み、支援ツールとして、就職支援セミナー、企業説明会・面接会などを実施し、特に就職支援セミナーの中の「就活サポートセミナー」は管内企業から高評価でした。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

職業相談、職業紹介における職員の資質向上を図るため、近隣ハローワークと合同で職業相談に係る事例検討会を実施しました。

具体的な支援事例を持ち寄り検討及び意見交換を行うことにより、問題点の把握や経験のない課題解決、支援の方法を習得することができました。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

新型コロナウイルス感染者数の増減の波が繰り返される中においても、事業所訪問による職員の専門的知識の向上を図るため、WEB会議サービス「TeleOffice」を活用したオンライン事業所訪問を積極的に実施しました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

求職者の動向として、55歳以上の新規求職者は増加傾向にあることから、高年齢者を対象としたセミナーや面接会の実施について検討するとともに、倉敷わかものハローワークにおいて開催している就職支援セミナー、企業説明会・面接会のさらなる充実を図ることにより、減少傾向にある若年層の取り込みを引き続き行ってまいります。また、特に人手不足が深刻化している人材不足分野（医療・介護・保育・建設・運輸・警備）に対しては、積極的な企業説明会・面接会及び企業見学会の実施による充足支援を強化することでマッチングの促進を図ってまいります。さらには、「ハローワーク倉敷中央」の存在感を高めるため、メディアを活用したPRに引き続き取り組んでまいります。

また、地方自治体との情報共有、協力が重要であることから、倉敷市及び総社市との雇用対策協定に基づく各種取組についても推進してまいります。

(4) その他業務運営についての分析等

ウィズコロナの中、事業所訪問及び面接会等の各種イベントを計画したものの、新型コロナウイルス第7波及び第8波の影響により、一部縮小も余儀なくされましたが、新型コロナウイルス感染防止対策を講じたうえで可能な限り実施しました。また、コロナ感染者の拡大時期においては企業の採用活動が慎重な動きとなり、求職者も求職活動を控える動きもみられましたが、オンラインを活用したマッチングの促進を図りました。

2 特記事項

ハローワークの熱意を電波に乗せてお届け。SNS時代にラジオ？実は新しい生活様式にぴったり！

当所管内全域が放送区域である「エフエムくらしき」の生放送番組に当所職員が出演し、パーソナリティとのQ&A方式によりハローワーク倉敷中央で実施している各種サービスについてお知らせしています。

また、月替わりでハローワーク倉敷中央の重点周知事項を20秒間に要約したスポットCMを通勤時間帯に流してお知らせしています。

年4回第2火曜日の18:00～18:10頃の約10分間

番組名「夕方ワイド くらしき」三井アウトレットパーク倉敷内「FMくらしき あいらぶスタジオ」から生放送

3 総合評価（※）

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	就職支援ナビゲーターの支援による 正社員就職件数	正社員に結びついた就職氷河期世代 の件数	正社員に結び付いたフリーター等の 件数	生涯現役支援窓口 での65歳以上の 就職件数
令和4年度実績	6,909	6,673	2,316	79.6%	94.3%	860	659	770	172
令和4年度目標	7,134	7,180	2,191	90.0%	90.0%	690	639	801	167
目標達成率	96.8%	92.9%	105.7%	88.4%	104.8%	124.6%	103.1%	96.1%	103.0%

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク玉野 就職支援業務報告（令和４年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

【障害者の就職促進】

玉野市とは、以前から各企業に対し福祉政策課長、所長の連名で障害者雇用に関する文書の発出、あるいは、障害者の面接についてハローワークと市の職員が同行するなど、積極的な連携体制が確立できていましたが、昨年度までは同行紹介について玉野市内（管内）の企業に限られていました。本年度についてはその点が解消され、市外の企業についても市の職員が同行することになり、結果、障害者の就職件数目標値６６件に対し、実績が８６件で１３０．３％の目標達成率となり、前年に比べ３０．３％の大幅増加となりました。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

【来所者の目線・導線を意識した所内掲示】

令和３年度にシニアコーナーを開設するなど、求人情報提供方法について、工夫した取り組みは４年度についても継続して行いました。掲示物についてもコロナ対策で待合スペースを広く確保せざるを得ない状況下で、来所者に分かりやすく、見やすい掲示を心がけました。また、待ち時間を利用したＤＶＤの上映についても、人材不足分野関係のＤＶＤを上映し、一人でも多くの方に応募いただけるよう取組を行いました。

（３）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

【雇用保険認定日の職業相談の効果的実施】

雇用保険早期再就職件数の進捗状況が非常に悪かったため、対策として、コロナ対策の一環で中断していた、認定日における毎回相談を再開し、さらに雇用保険支給残日数によって再就職手当の額が変わること、特に額が少なくなるタイミングでのリーフレットを活用した求職者に対する意識付けを行ったところ、就職件数が増加し、最終的に目標達成率は１０５．７％となりました。雇用保険受給者の中で、雇用保険支給残に数を意識して就職活動を行っている者が、決して多くないことから、今後も引き続き、丁寧な説明を心掛け、就職意欲の喚起に努めていきたいと思います。

(4) その他業務運営についての分析等

マイページの開設率が非常に悪く、改善を求められる中で、徳島所の「スマホ教室」の取り組みが非常に参考となり、雇用保険説明会の開催に合わせて、高年齢者を対象にしてスマホ教室を開催、その場で開設していただく流れが確立できました。併せてQRコードを用いた求人情報を提供することで、より効果的なスマホ教室開催となっています。地道な取組となりますが、令和5年度につきましても、継続して開催し、高年齢者の就職促進に努めていきたいと思います。

2 特記事項

3月23日に玉野市と雇用対策協定を締結しました。連携体制を今まで以上に強化し、令和5年度事業計画に基づき、産業振興と雇用創出・雇用確保の一体的取組を実施していきたいと思います。また、3月にはプレ開催として、人材不足分野である介護職及び高年齢者を対象としたミニ面接会を開催し、それぞれ5名の参加がありました。

3 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワークの職業 紹介により正社員に 結び付いた就職氷河 期世代の件数	人材不足分野 の就職件数	障害者の就職件数	所で選択 して記載
令和4年度実績	844	604	238	55	95	65	191	86	
令和4年度目標	869	663	225	65	105	47	247	66	
目標達成率	97.1%	91.1%	105.8%	84.6%	90.5%	138.3%	77.3	130.3	

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク和気 就職支援業務報告（令和４年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所においては、主要項目のうち就職件数・雇用保険受給者の早期再就職件数の目標達成を最重要と考え重点的に進めることとした。

また、コロナ禍において来所者数の減少が続く中において、求職者担当者制による個別就職支援を充実させるとともに、求人情報の提供を強化するとともに、ハローワーク未利用者の利用勧奨を促進するため、これまでの赤磐市への週一回の出張相談に加え、商業施設への求人情報誌の配架を開始したところである。

職員・求職者専門相談員による求職者担当者制については、支援対象者数計は 683 人、うち就職者数 452 件、就職率 66.2%と目標としていた対象者の就職率 50%以上を達成している。求人情報の提供件数については一日平均 147.1 件（前年度 139.1 件）の提供数となり、充実した職業相談が実施できるとともに、求職者の就職意欲の向上につながったものと考えている。

週 1 回の赤磐市出張相談（1 日ハローワーク）においては、職業相談実績が 149 件（前年度 121 件）となり、当該市との十分な連携が図れ、ハローワーク未利用者の利用勧奨に積極的に取り組むことができた。併せて、地元のケーブルテレビで、ハローワークの支援サービスを案内することで、広く周知できたと考える。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

中長期的な職員の育成を図る観点から、若手職員や期間業務職員を中心に職業紹介技法の知識の付与を目的に、履歴書・職務経歴書といった応募書類の指導技法に係る研修を行うとともに、上からの指示を受けて業務にあたるのではなく、自らが考え行動することでより効果的な業務運営が可能となるよう、職員間の業務検討会を開催した。

また、労働基準法の知識は必要不可欠であることから、労働基準監督署職員を招聘しての研修を実施するとともに、求人票に記載されている基準法用語について来所者目線で回答を記述する、メール形式での研修も実施した。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者に対して「わかりやすい案内表示」、「わかりやすい陳列」に努め、求人情報コーナーの整備を行うとともに、職業訓練情報コーナーの拡充やセミナー情報の整備にも取り組んだ。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

コロナ禍にあっては、事業所訪問等を中止せざるを得なくなり、求職者に伝えられる求人に関する情報が限られた状況にあったことから、今後においては事業所訪問を積極的に展開し、求人票だけでは得られない事業所情報の提供を行えるよう体制の整備を図り、管内求人への充足に努めていきたい。

また、ハローワーク利用者が減少傾向にあることから、ハローワークの支援サービスを広く周知し、「ハローワークを利用したい」と思ってもらえるサービスを展開していきたい。

(4) その他業務運営についての分析等

コロナ禍において、感染を恐れ再就職に二の足を踏む者が見受けられた中において、雇用保険説明会・初回講習会及び各種セミナーについても開催できず、雇用保険受給者に対する就職意欲喚起が窓口での相談のみに頼らざるを得ない状況となっていた。

このことから、本所・出張所の若手職員によるプロジェクトチームにおいて、再就職手当の活用や早期再就職のメリットを解りやすく図解したリーフレット等を作成し、受給資格決定時や認定日において説明のうえ配布することで、早期再就職の意欲喚起が図られるよう努めた。

2 特記事項

アフターコロナにおいては、これまでの窓口での業務だけではなく、前述した職員による事業所訪問の外に、求職者を集めての職場見学会や、認定日を利用した求人説明会の開催等、これまでは実施していなかった手法も取入れ「攻める」姿勢をもち、管内求人への充足を進めていきたいと考えている。

3 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワークの職 業紹介により、正 社員に結び付いた 就職氷河期世代の 不安定就労者・無 業者の件数	障害者の就職件数		
令和4年度実績	1, 259	983	325	88. 3%	95. 6%	160	114		
令和4年度目標	1, 254	997	367	90. 0%	90. 0%	120	106		
目標達成率	100. 4%	98. 6%	88. 6%	98. 1%	106. 2%	133. 3%	107. 5%		

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク高梁 就職支援業務報告（令和４年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

○ 数値目標の徹底

- ・ 非常勤職員も含め全職員がハローワーク評価について認識することが必須であるため、４月８日～４月１８日に所長が講師となって職員研修を行い、ハローワーク評価の意義等及び所長のビジョンを伝えた。具体的には、求人情報の積極的提供による求人提案型紹介を実施すること等により紹介件数を確保するよう指示した。
- ・ 就職件数、充足件数等については、毎日進捗状況表を作成し掲示するとともに随時所長メールにより進捗状況及び今やるべきことを周知徹底した。

○ 雇用保険受給者の早期再就職促進の取組

- ・ 「雇用保険受給者の早期再就職促進」の推進のため、昨年度から使用している「再就職手当シミュレーション」に「申請から最短１週間程度で入金される。」との迅速支給を周知する文言を加えた。

○ 求人者マイページの普及強化

- ・ 政府全体の目標であるオンライン化、ペーパーレス化の推進のため、求人者マイページの開設、マイページからのオンラインによる求人申込みの普及について事業主の反応にあわせた丁寧な支援を実施した。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

○ らくらく求人検索カードの作成配付

- ・ 「求人検索が難しくて上手く検索できない」との声に応えるため、需要の多い職種が一発検索できるQRコード入りのカード、更に希望職種等に応じたオーダーメイドのカードを作成配付した。

○ 商業施設を活用した職業訓練説明会、職業相談会の開催

- ・ 株式会社イズミゆめタウン高梁店の協力を得て「職業訓練説明会＆職業相談会 in ゆめタウン高梁店」を毎月１回開催し、職業訓練制度の周知及び潜在求職者の掘り起こしを行った。

- セミナーや面接会などのイベント情報の発信
 - ・ ハローワーク高梁で行われる面接会やセミナー等のスケジュール表を岡山労働局ホームページへ掲載した。
- ケーブルテレビを活用した周知広報
 - ・ ハローワーク高梁で実施している各種サービス内容を周知し利用促進を図るため、キビケーブルテレビでCMを放送した。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

- 管内自治体との連携
 - ・ 「高梁市・新見市・吉備中央町合同就職フェア（仮称）」を実施することとしている。
 - ・ 令和5年2月13日に締結した高梁市及び新見市と岡山労働局による雇用対策協定に基づき、共通の目標へ一体となって地域の雇用対策に取り組むこととしている。
- 商業施設を活用した職業訓練説明会、職業相談会の開催
 - ・ 株式会社イズミゆめタウン高梁店の協力を得て実施している「職業訓練説明会&職業相談会 in ゆめタウン高梁店」を今後も定期的に開催し、ハローワーク高梁の各種サービスメニューの発信を行うこととしている。
- ケーブルテレビを活用した周知広報
 - ・ ハローワーク高梁で実施している各種サービス内容を周知し利用促進を図るため、引き続きキビケーブルテレビでCMを放送することとしている。

(4) その他業務運営についての分析等

- ハローワーク評価に対する認識の共有
 - ・ 年度当初に全職員を対象に所長による研修を行うとともに、随時進捗状況等の周知を図ったことにより、非常勤も含めた全職員が同じ方向を向いて目標達成に努めることが出来た。

2 総合評価（※）

非常に良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワークの職 業紹介により、正 社員に結びついた 就職氷河期世代の 不安定就労者・無 業者の件数	新卒者支援に係る 就職支援ナビゲー ターの支援による 新規卒業予定者等 (既卒者含む)の正 社員就職件数
令和4年度実績	978	872	235	94.2%	96.6%	151	197
令和4年度目標	885	847	229	90.0%	90.0%	55	109
目標達成率	110%	102%	102%	104%	107%	274%	180%

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク笠岡 就職支援業務報告（令和４年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、雇用保険受給者の早期再就職件数の目標達成を最重要と考え、求職者担当者制の充実による個別就職支援を行い、認定日における全員相談、緊要度・希望条件の確認、再就職手当の活用促進、求職活動支援セミナーの受講勧奨に努めました。また、給付制限中の来所勧奨による相談を行うことにより、早い段階での再就職促進にも努めました。

求職者担当者制による就職支援では、支援対象者８０９人、うち就職者数６４１人、就職率７９．２％と一定の成果を上げることができました。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

コロナ禍の中、ハローワーク利用者からは面接会の開催要望があることなどから、地方自治体との共催による面接会や、ニーズの高い新規事業所の会社説明会や面接会の開催については、小規模な開催となるよう計画をし、また、感染予防対策を徹底したうえでの開催となるよう実施をしました。

また、求人者からは、求人提出後の早期充足の要望が多かったことから、週刊ホット求人情報の発行、求人充足会議の開催、未充足求人のフォローアップなど、早期求人充足に努めました。

（３）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

新規求人数が対前年比で約１割程度の増加となり、企業にとって人手不足がなお深刻な状況にあるため、求職者に対して、ハローワークのサービスメニューの周知と子育て世代を中心とした女性や高齢者への支援強化を図り、求人者に対しては、求職者への求人情報の提供や未充足求人のフォローアップに工夫を重ねて早期充足に努めてまいります。

また、求人・求職双方の利用者サービスの向上を図るため、求人・求職者担当者制の取組を一層推進していきます。

（４）その他業務運営についての分析等

当所においては管轄外の倉敷方面や福山方面へ就職される方も多数存在することから、管内求人の早期充足のための週刊ホット求人情報の発行、管内事業所（求人）の魅力発信を意識した求人充足会議の開催、未充足求人のフォローアップなど、早期求人充足に努めてまいります。

2 特記事項

新規求職者数は前年度と比較して約2.5%の微増に止まる中、新規求人数は約1割の増加となり、介護職をはじめとする特定の分野での人手不足感の強い求人充足のフォローアップが必要となっている。

3 総合評価（※）

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	HW 紹介により就 職した氷河期世代	生活保護受給者 等の就職率	人材不足分野の 就職件数	
令和4年度実績	2,012	1,610	559	91.6%	92.3%	276	77.3%	497	
令和4年度目標	2,064	1,653	547	90.0%	90.0%	157	63.3%	539	
目標達成率	97.5%	97.4%	102.2%	—	—	175.8%	—	92.2%	

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク西大寺 就職支援業務報告（令和４年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

就職件数の向上に向けた取組として、応募書類の添削サービス及び面接練習をより多く取り入れ、マッチング効果を高めました。

また、求人充足数の向上を目的として、事業所見学による作業風景写真の入手とその展示サービスを実施しました。

さらに、年々増加している高年齢求職者を重点支援対象者として捉え、生涯現役支援窓口を中心とした求職者担当者制による支援の他、高年齢者の雇用に理解を示す求人の掲示や求人情報誌を発行し、高年齢求職者への情報提供を積極的に行いました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、職業相談・職業紹介時等における職員の資質向上を図る観点から、事業所訪問を積極的に実施し、求人事業所のより詳細な情報収集を図り、それぞれの事業所の求める人材像や現場の画像情報など、求人票の内容以上の情報の提供に取り組みました。

また、所内での職業紹介にかかる業務研修を複数回開催し、知識の習得を図りました。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

ハローワークの利用案内リーフレットの刷新や待合への大型モニターでの利用案内を実施しました。

高齢者の活用、仕事と家庭の両立支援、求職者目線での求人内容の見直しや新型コロナウイルス感染症への対策等を求人票へ盛り込むなど、求人・求職のマッチングに取り組みました。また、庁舎内に雑然と貼られたポスター類の整理等も行いました。

（３）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

新規求職者数は減少傾向でしたが、令和５年１月の庁舎移転以降、増加に転じており、マッチング機能の強化が求められているところです。

求人・求職者双方の利用者サービスの向上を図るため、求人担当者制や求職者担当制の取組をより一層推進していくこととします。

（４）その他業務運営についての分析等

令和４年度の就職件数及び求人充足数は、令和３年度に続き目標値には達することができませんでしたが、令和４年度中に実施した様々な取組が次年度以降、結実していくものと考えております。

令和５年度も継続して求人担当者制や求職者担当制の取り組みを進めるとともに、職業相談窓口では紹介件数を意識した相談の実施、失業認定窓口では受給者の対面認定時に求人情報を提供しての就職意欲喚起も積極的に行いながら、就職件数の増加に向けた取組を行ってまいります。

2 総合評価（※）

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	④ハローワークの職 業紹介により、正社員 に結びついた就職氷 河期世代の不安定就 労者・無業者の件数	⑤ハローワークの職 業紹介により、正社員 に結びついたフリータ ーの件数	⑨生涯現役支援窓口 での 65 歳以上の就 職件数
令和4年度実績	1,704	1,467	566	87.2%	100%	170	222	123
令和4年度目標	1,913	1,677	558	90%	90%	128	265	76
目標達成率	89.1%	87.5%	101.4%	96.9%	111.1%	132.8%	83.8%	161.8%

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率